

書評チェックリスト

投函する前に、投稿原稿が以下の事項に適合しているかどうか確認(□をクリックしてチェック)し、このチェックリストも原稿といっしょに提出してください。

本文

□ 書評対象文献について、本文冒頭に下記の形式で記してある ("_" は半角のスペース)。

和書の場合

著者名『書名』

出版社，出版年月，価格，ページ数.

ISBN.

洋書の場合

著者名,_書名[イタリック]

出版社,_出版年月,_価格,_ページ数.

ISBN.

□ 引用文献や注が、執筆要領に従って示されており、脚注は用いていない。

文献

□ 書評本文において、文献の表記が、以下の形式になっている ("_" は半角のスペース)。

(1) 和文の論文

著者名_年:「論文名」『雑誌名』巻(号), 始頁-終頁.

(2) 和文の図書

著者名_年:『書名』出版社.

(3) 和文の図書(欧文の邦訳書)

著者名_年:邦訳者名『邦訳書名』出版社;原著者名_原書書名[イタリック],_原書出版社,_原書出版年.

(4) 欧文の論文

著者名_年:"論文タイトル,"_雑誌名[イタリック],_巻(号),_始頁-終頁.

(5) 欧文の図書

著者名_年:_書名[イタリック],_出版社.

(6) 欧文の図書(邦訳あり)

著者名_年:_書名[イタリック],_出版社;邦訳者名『邦訳書名』出版社, 年.

(7) インターネットからの資料

報告書, 論文等については、(1)~(6)の最後に URL と閲覧日を記載。

それ以外の場合は、著者名_年:「記事タイトル」, URL (閲覧日) を記載。

□ 執筆のときに邦訳書を用いた(本文中で邦訳書のページをあげている)ときは、上記(3)の形式で文献を挙げる。執筆のときに原書を用いた(本文中で原書のページをあげている)が邦訳もあるときは、上記(6)の形式で文献を挙げる。

□ 終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は、それを省略する。

例 1: × 723-728

○ 723-8

例 2: × 723-741

○ 723-41

□ 著者が複数の時は、次のように書く。

和文の場合: 丸山剛司, 井村裕夫

欧文の場合: Beck, U., Weinberg, A. and Wynne, B.

□ 著者名(原著者名)を欧文で記すときは、Last name はフルネームで記載し、first name はイニシャルのみとする。ただし、同名の著者が複数登場して混乱するときは、first name をフルネームで記載する(それでも区別がつかないときは、middle name も書く)。

□ 欧文雑誌などの文献を示すときは、他分野の研究者でも容易にその文献がわかるように、分野固有の略記は避ける。(たとえば、*H. S. P. B. S.*ではなく、*Historical Studies in the Physical and Biological Sciences* と表記する。)ただし、あまりにも煩雑になるようであれば、初出箇所ではフルに表記し、2回目以降は略記を用いてもよい。

□ 本誌(『科学技術社会論研究』)に掲載された論文を挙げるときは、単に"本誌 第1号"などとせず、『科学技術社会論研究』第1号 のように表記する。

投稿票

□ 執筆者全員の氏名・所属・職名・連絡先が、和文と英文の両方が記入してある。(執筆者名のローマ字表記は、姓名、名姓、どちらの順でもよい。ただし複数の執筆者がいるときは全員について同じ順にする。)

送付の前に

□ 原稿と投稿票、このチェックリストを、電子メール添付にて事務局宛に送付する。